

音楽学部・人文学部・教員年次研究報告書

(2000年4月～2001年3月)

昨年の『研究論集』第16号で、大学の自己点検・自己評価の一環として「教員年次研究報告書」を掲載し、今年も引き続いて実施することになりました。いづれ近々に『響流』の改訂版が出る予定ですが、やはり、ここ一年の研究成果を公表することが編集委員の責務と考えたからであります。なお、今回掲載されました業績は、厳密に言って、この一年間にわたったものに限ってはいないという点をお断りしておきます。その理由は、先回の調査で抜け落ちたりして今回載せて頂いた方や、昨年増えました新任の先生方には初めてご記載を願ったりしたからであります。

この業績一覧に目を通された方は、これを契機に厳しいご叱正を、あるいはご意見を、我々教員に対して頂ければ幸いです。(掲載はアイウエオ順)

〔音楽学部〕

(1) 門屋 菊子

1. 関西二期会「フランス歌曲の流れ」平成12年4月21日 金 大阪倶楽部
2. 帝国ホテル「チャペルコンサート」田淵幸三氏とジョイント 平成12年7月28日
3. 関西二期会「日本歌曲の夕べ」平成12年11月22日 いずみホール

(2) 木川田 誠

1. 関西二期会第52回オペラ公演 2000年6月25日 W. A. モーツァルト
《後宮からの逃走》オスミン役 沼尻竜典指揮・鈴木敬介演出・京響・原語
上演 アルカイクホール
2. [プロデュース並びに出演] 関西二期会第53回オペラ公演 2000年10月7日 R. ワーグナー 《パルジファル》テイトゥレル役 飯守泰次郎指揮・鈴木敬介演出・京響・原語上演 アルカイクホール [音楽クリティック・クラブ賞受賞]
3. [文部大臣表彰] 2000年11月8日 平成12年度地域文化功労者(芸術部門)
如水会館

(3) 斎藤達男

1. ならチェンバーアンサンブル第56回定期演奏会 2000年9月23日 なら100年会館にて
L. V. ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第1番 ヘ長調 作品18-1
J. ブラームス：ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34 他
2. リサイタルシリーズ（全6回）Vol.1 2000年12月18日 ザ・フェニックスホールにて
J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007
S. ラフマニノフ：チェロ・ソナタ ト短調 作品19 他
3. リサイタルシリーズ（全6回）Vol.2 2001年5月22日予定 ザ・フェニックスホールにて
J. S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調 BWV1008
L. V. ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 作品69 他

(4) 高橋滋子

1. 「高橋滋子歌曲集紅ばら」出版 平成12年5月
2. 第13回新・波の会日本歌曲コンクール作曲部門入選、平成12年
3. あうろすフルートあんさんぶる20周年記念コンサートにて フルート六重奏曲「Spring Spring Spring」が演奏される。（東京・津田ホールに於て）平成12年10月22日
4. 第5回20世紀日本歌曲の潮流にて 歌曲「紙ふうせん」「陽炎と葬列」が演奏される。（東京・すみだトリフォニーホールに於て）平成12年11月20日

(5) 田中万美子

1. 《日伊合同公演》オペラ“お蝶夫人”全2幕〔原語上演〕 プッチーニ作曲 G. PUCCINI. “MADAMA BUTTERFLY” スズキの役 1996年11月9日 尼崎市総合文化センター アルカイックホール
2. 第102回“日本シューベルト協会演奏会”独唱 〈大中恩 かなしくなったときは 中田喜直〉 大中恩作曲 「22才の歌」「子供が死なないようにとの祈り」他 2000年6月29日 いずみホール
3. 関西歌曲研究会特別演奏会 “20世紀日本の名歌” 独唱 團伊玖磨作曲「子守歌」 小林秀雄作曲「落葉松」 2000年11月20日 いずみホール

(6) 辻井英世

1. 相愛大学付属音楽研究所公開講座 「くコンピューター音楽の現在」レクチュア&コンサート」制作実施 2000年3月11日(土) 相愛大学南港講堂 長嶋洋一、岡本 久 他6名のコンピューター音楽作曲家の新作初演。
2. 音楽作品〈PHILOS-SOPHIA〉for chamber orchestra 新作初演 2000年10月9日(祝) しらかわホール(名古屋市) 第2回 愛知シンフォニエッタ演奏会 管弦楽シンフォニエッタ 指揮 稲垣宏樹
3. 音楽作品〈AKTIS〉for chamber orchestra 新作初演 2000年11月30日(木) いずみール(大阪) 第22回〈現代の波〉音楽祭2000 室内管弦楽ポリヒムニア・アンサンブル 指揮 稲垣宏樹

(7) 三谷美智子

1. 合唱歌唱の基本作り、ハーモニー作り(その1) 2000年4月23日 共演 斎藤建寛 於・相愛学園本町学舎 主催・日本声楽発声学会関西支部
2. 合唱歌唱の基本作り(その1その2) 2000年7月19~21日 於・川本文化ホール 主催・島根県教育研究会
3. 合唱歌唱の基本作り(その2) 音楽作り(その1) 2000年8月1日 出演 飯田昭男 於・御堂会館 主催・大阪市文化連盟

(8) 若林正史

1. C. Debussy Bilitis for Flute & Piano を関西初演 1997年5月27日 相愛大学ホールにて
2. フルート、オーケストラ定期演奏会を指揮(A. Mozart: フィガロの結婚序曲、他) 1998年12月1日 相愛大学ホールにて
3. フルート、オーケストラ定期演奏会を指揮(ムソルグスキー: 展らん会の絵、他) 1999年12月7日 相愛大学ホールにて

〔人文学部〕

(1) David B. Willis

1. Imagining Transcultural Community: The Pacific Creoles, In Press, Project for Exploring Emergent JAmerican Culture, Paper presented in Senri, Osaka, September 2000(Book to be published 2001).
2. Being Others in Japan, Edited Volume with S. Shigematsu, Univ. of

Tokyo, In Press 2001(USA). Includes Paper "Dejima: Transnational Communities in Japan and Their Cultures," paper for Being Others in Japan, Edited Volume with S. Shigematsu, Univ. of Tokyo, In Press 2001(USA).

3. The English Educational System: From Coping with Difference to Benefiting from Diversity, Soai Daigaku Kenkyu Ronshu, March 2000.

(2) 大山小夜

1. 大山小夜「ルース・S・キャバンの『自殺』研究——自殺の社会心理学の源流——」寶月誠・中野正大編著『シカゴ学派の伝統』（研究者代表：中野正大、平成10～12年度文部省科学研究費研究成果報告書、2001年）
2. 大山小夜「多重債務者の救済活動——ある『被害者の会』のエスノグラフィー——」『京都社会学年報』第6号 1998年
3. 大山小夜「危機を生きる家族」寶月誠・中野正大編著『シカゴ社会学の研究——初期モノグラフを読む——』恒星社厚生閣 1997年

※現在の研究課題・活動状況

1. 消費者金融・販売信用等による多重債務者に関する実証的研究
2. 初期シカゴ学派社会学の理論と方法論に関する研究
3. 「人権文化研究会」（代表：神原文子）を発足し、豊中市を中心とする同和地区内外の実態及び意識に関する報告書を作成中である。

(3) 神原文子

1. 「家族社会学からみた家族危機」清水新二編著『家族問題——危機と再生——』（ミネルヴァ書房、2000年）所収
2. 『教育期の子育てと親子関係』（ミネルヴァ書房、2000年、高田洋子と共編著）
3. 『教育と家族の不平等問題——被差別部落の内と外——』（恒星社厚生閣、2000年）

(4) 北崎契縁

1. 「エコクリテイシズムからみる D. H. ロレンス 'spirit of place', 'sense of place' をキー・ワードとして」（日本ロレンス協会第31回大会、公開シンポジウムⅡ：同志社大学、2000年6月18日）
2. 「D. H. ロレンスと仏教との関わりについて——涅槃とはバランス感情で

ある——」、相愛大学『研究論集』第17号（2001年3月）

- ※ *Rethinking Lawrence* (ed.) by Keith Brown (Open University, 1990)
（『ロレンス批評地図』）の翻訳・刊行作業及び、*The Trespasser*と*The White Peacock* 論文作成のための準備作業。

(5) 北野裕通

1. 『務台理作：社会存在の論理』（京都哲学選書9）編集・解説、燈影舎、2000年、[解説] 306-324
2. 「あいまいな身体——内村鑑三の場合——」『「根拠」への探求——近代日本の宗教思想の山並み』（シリーズ・近代日本の知 第5巻）晃洋書房、2000年、97-116

※現在の研究課題・活動状況

1. 講演「大地にんの人」 2000年7月14日、大谷大学
2. 講演「大地・身体・自覚——ニーチェ『ツァラトゥストラ』の場合」2000年8月24日、群馬大学北軽井沢研修所・田辺記念館
3. 講演「禅と哲学」 2000年11月13日、サンピア大阪・咲洲大学
4. 研究発表「唐木順三『無常』について」 京都哲学研究会、2000年3月27日、京大会館

(6) 金泰泳

1. 『アイデンティティ・ポリティクスを超えて——在日朝鮮人のエスニシティ——』世界思想社 1999年12月
2. 「在日朝鮮人教育のアイデンティティ」『解放教育』第387号 明治図書 2000年2月
3. 「エスニック・アイデンティティとは何か」『解放教育』第397号 明治図書 2000年12月

(7) Teresa Bruner Cox

1. "Rimrock Revisited: An Ethnographic Study of the Homesteader Community of Fence Lake, New Mexico." Soai Ronshu 2001.

(8) 佐々木 豊

1. U. S. -Japan Nonprofit Exchange as Cultural Interactions: The Emerging Role of NGOs/NPOs as Agents of Cultural Transmission

and Transformation (Paper presented in Workshop on "Exploring Emergent JAmerican Culture," Sept. 1, 2000, Osaka, 29pp.)

- ※ 米日財団 (The U.S.-Japan Foundation) の助成金による研究プロジェクト「戦後50年余りにおける日米文化交流における共通の価値の形成」(プロジェクト・リーダー 松田武大阪外国語大学教授) への参加とペーパーの執筆

(9) 砂川 博

1. 「長門本平家物語の成立について」(麻原美子・犬井善壽編『長門本平家物語の総合研究 論究篇』第三巻 勉誠社、2000年3月)
2. 「『一遍聖絵』における二、三の問題——『中世遊行聖の図像学』補遺——」(『時衆文化』創刊号、2000年4月)
3. 「時衆と琵琶法師の関係」(『時衆文化』第2号、2000年10月)

※ 現在の研究課題・活動状況

1. 主な研究課題
 - a 『一遍聖絵』、一遍、真教、時衆教団史の研究。
 - b 『平家物語』の成立にかかわる諸問題、琵琶法師をめぐる諸問題についての研究。
2. 主な活動
 - a 『一遍聖絵』、一遍と時衆(宗)教団史の研究を目的とする研究誌『時衆文化』(年2回、刊行)編集者代表。
 - b サントリー文化財団の「2000年度人文科学・社会科学に関する研究助成」、テーマ「国宝絵巻『一遍聖絵』の総合的研究」の研究代表者(共同研究者 金井清光・桜井好朗・高野修・長島尚道・梅谷繁樹・相澤正彦・林譲・松尾恒一・古賀克彦)。

(10) 千葉 真也

1. 「古事記伝再稿本二之巻の初案について」 鈴屋学会報13 (1996年)
2. 伝賀茂真淵 『日本紀訓考』について 鈴屋学会第15回大会口頭発表 (1998年)

※ 現在の研究課題・活動状況

本居宣長と賀茂真淵の主要著作の成立過程を実証的に解明することを課題としている。2001年に刊行予定の『本居宣長事典』のいくつかの項目を執筆した。

(11) 中 島 直 嗣

1. A Moraic Approach to Vowel-Length Alternations in English 『人文論究』（関西学院大学人文学会）第46巻第4号 pp.148-159 1997年2月20日
2. A Constraint-based Analysis of Stress and Suffixation in English 『人文論究』（関西学院大学人文学会）第47巻第3号 pp.194-207 1997年12月20日
3. 「英語の韻律語・接辞境界のメカニズム——最適性理論による分析」『ことばの心理と学習——河野守夫教授退職記念論文集』（ことばの科学研究会編）（金星堂）pp.103-115 1998年6月30日
4. 英語の接辞添加の本質的特徴——接尾辞 -able の分析を中心に』『現代言語学の射程』（菅山謙正編）（英宝社）pp.79-97 2000年3月15日

※ 現在の研究課題・活動状況等

英語音声学会関西支部第3回研究大会（2000年5月13日 於阪南大学）にて口頭発表した「The Phonological Properties of -ist and -ism」に基づき、同学会発行の学術論文集に近日投稿予定である。

(12) 中 西 健 治

1. 「伝能因所持本枕冊子の昭和写本について」 相愛大学研究論集第16巻 2000年3月
2. 「源氏物語データベース作成（本文篇・桐壺～末摘花）」 凸版印刷 2000年4月
3. 「青山文庫の典籍類について」 平成12年度講座「丹波学」報告書 2001年3月
4. 「『新註国文学叢書 浜松中納言物語』の著者・宮下清計氏のこと——近代の浜松中納言物語研究史稿——」 相愛国文14号 2001年3月

(13) 長 野 孝 男

1. 第7回新日本スポーツ連盟（大阪府）主催（講演）メンタルトレーニングの科学（スポーツ心理学の立場より） 2000年9月19日 大阪市中央青少年会館

(14) 西 迫 成一郎

1. 「リラクゼーションの獲得法」前橋明監修

- 『健康科学——心とからだの健康——』（明研図書、1998年）、325-330
2. 「原子力発電に対する受容度に影響する要因の分析——多重指標モデルの分析事例——」山本嘉一郎・小野寺孝義編著『Amos による共分散構造分析と解析事例』（ナカニシヤ出版、1999年）、125-137
 3. 『自己統制感、自尊感情および不安が問題認識過程に及ぼす効果——行動規範の決定過程に関する研究(1)——』（共著）『関西大学総合情報学部紀要 情報科学』第14号、2000、13-33頁
- ※ 1. 公正感と行動基準との関連性
2. 情報興味空間の構造

(15) 野 呂 忠 司

〈書籍〉

1. 田中正道編著『英語の使用場面と働きを重視した言語活動——指導と評価』教育出版 2000年6月発行
「第3章 家庭での活動 3 英語の授業（発表する・質問する）」、
「第4章 地域の行事 2 盆踊り大会（招待する・意見を言う）」、
「第5章 世界とのコミュニケーション 3 北米（招待する・約束する）」
2. 青木昭六先生古希記念論集委員会『英語教育学論集：青木昭六先生古希記念論文集』桐原ユニ出版 2000年8月発行
「多読指導の理論的背景とその意義」（pp. 82-95）
3. 門田修平・野呂忠司編著『英語リーディングの認知メカニズム』くろしお出版 2001年4月出版予定
「Ⅰ. 読みの研究はこれまでにいかに推移したか（2. トップダウン処理、3. 相互作用モデル）」、「Ⅱ-2. 読解における語彙情報の役割」、「Ⅱ-4. 単語の音韻処理はいかに読みに影響するか（1. 音韻認識、2. 語彙アクセスにおける音韻符号化）」、「Ⅲ-1. 多読指導」、「Ⅲ-2. 繰り返し読みの方法」、「Ⅲ-3. 視覚言語と音声言語の同時提示：聞きながら読む」、「終章 今後の展望（後半）」

〈論文〉

1. 「下位レベルの処理技能と外国語としての読解力」『中部地区英語教育学会 紀要』29、pp. 23-30、2000年3月
 2. 「『聞きながら読む』訓練と付随的語彙習得」『中部地区英語教育学会 紀要』30、2001年3月予定
- ※ 今後の研究の方向

1. 4技能における語彙知識の広さと深さの働き
2. 第二言語の語彙習得（意図的語彙習得と付随的語彙習得）とその指導法
3. 読みにおける読解下位構成技能の働き（単語認知とワーキングメモリーを中心にして）

(16) 橋元淳一郎

1. 橋元淳一郎「われ思うゆえに思考実験あり」(早川書房、2000)
2. 橋元淳一郎「物理をはじめからていねいに 力学編」(東進ブックス、2000)
3. 橋元淳一郎「きめるセンター物理 演習編」(学習研究社、2000)

※ 現在の研究課題

テクノロジー偏重の現代科学を憂い、科学と哲学（そして宗教）が止揚的に結びつく方法はないかと模索しています。

(17) 初塚真喜子

1. 東條吉邦・望月葉子・初塚真喜子 1996 自閉症児の社会的自立を支える諸要因——M事例に学ぶこと—— 国立特殊教育総合研究所特別研究報告書 109-118.
2. 初塚真喜子・石田雅人 1996 子育てにおける母親と父親のストレス比較——母親の就労形態による差異—— 大阪教育大学紀要45、31-42.
3. 初塚真喜子 1997 認め合い、共に生きるために——発達相談と発達障害 倉戸ツギオ編『育て・はぐくむ・かかわる』北大路書房 197-224.
4. 初塚真喜子 1997 教育相談室における活動をふりかえって——調査研究と今後の課題—— 平成8年度文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業報告書 8-10、22-23.
5. 初塚真喜子 1998 学校における心理臨床についての一考察——スクールカウンセラーの活動を通して—— 名古屋柳城短期大学紀要 137-149.
6. Katsuo Tamaoka, Makiko Hatsuzuka 1998 The effects of morphological semantics on the processing of Japanese two-kanji compound words. *Reading and Writing*, 293-322.
7. 初塚真喜子・東條吉邦 2000 自閉症児の自立と余暇活動に関する一考察 相愛大学研究論集17.

※ 現在の研究課題・活動状況等

発達障害児の自立、青年期の心理臨床、認知行動療法

(18) 本 多 至 成

1. 金子みすゞと親鸞——善と悪との視点——『日本仏教学会年報』第65号・彙報
2. 八尾市市民講座（八尾市主催）「萱振と恵光寺」平成12年9月6日 於・八尾市コミュニティセンター
3. リーガロイヤルホテル主催 リーガクラブ記念講演「人生の達人に学ぶ」平成12年9月13日 於・リーガロイヤルホテル
4. 大阪市大学開放講座（相愛大学市民教養講座）「ブッダとところ——仏教心理学序説——」平成12年11月4日 於・相愛大学人文学部U134
5. 市民開放仏教講座（相愛大学・相愛女子短期大学宗教部主催）「仏教詩人の旅」① 金子みすゞと仏教 第1回～第4回 平成12年9月16日（土）～平成13年1月27日（土） 於・相愛学園南港学舎、学生厚生施設小ホール

(19) 山 下 昇

1. 加藤恒彦他編『世界の黒人文学』（弓書房 2000年4月）アメリカ黒人文学のうち、ジェシー・レッドモン・フォーセット、ネラ・ラーセン、ドロシー・ウェスト、アン・ピトリについての解説を担当
 2. 「ジェシー・フォーセット『アメリカ式の喜劇』——黒人女性文学ルネサンスのパイオニア——」現代英語文学研究会編『ジェンダーで読む英語文学』（開文社出版 2000年9月）211-236
- ※ 2001年9月に編著『冷戦とアメリカ文学』を世界思想社より出版予定

(20) 山 本 幸 男

1. 「法華寺と内裏——孝謙太上天皇の居所をめぐって——」『日本歴史』621号 2000年2月、88-91.
 2. 「書評：山下有美著『正倉院文書と写経所の研究』」『日本歴史』622号 2000年3月、109-112.
 3. 「写経所文書の基礎的研究——天平宝字年間を中心に——」学位論文（大阪市立大学、2000年3月博士（文学））
- ※ 科学研究費補助金による基盤研究（B）「正倉院に伝来した写経所文書の復原的研究」は3年目を迎え、2001年3月末に報告書を刊行する予定

(21) 横 原 恭 士

1. 「「Thermokill Database」と食品の加熱殺菌予測への展開」（共著）

『防菌防黴誌』 Vol. 28、No. 10、pp. 657～662、2000

2. 「食品の加熱殺菌とその HACCP への対応」(共著) 『食品と技術』 2000
1月号、No. 343、pp. 1～10

※ 現在の研究課題

1. 食品の加熱殺菌のデータベース
2. 音楽の知覚認知
3. 言語と情報量